



はちろうがた 2013年12月定例会 第118号

議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会 〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80
☎ 018-875-5810

ニャンパチ辞令交付式& イルミネーション点灯式



- ◆ 2ページ …… 新年のあいさつ
- ◆ 3ページ …… 12月定例会
- ◆ 4～10ページ …… 一般質問
- ◆ 11～12ページ …… 各常任委員会の審議
- ◆ 12ページ …… 議決された条例の内容
駅前にぎわいふれあい元気プロジェクト(素案)
- ◆ 13ページ …… 提出議案／広域組合議会報告
- ◆ 14ページ …… 請願・陳情／議会のうごき



新年のあいさつ

八郎潟町議会議長

三戸留吉



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げますとともに、日頃より、町政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本議会も、改選後まもなく2年目となりますが、より身近な議会、開かれた議会の実現を念頭に置き、議会運営に努めてまいりました。初春を迎えて、八郎潟町の更なる発展のために、引き続き努力してまいります。

さて、国では、東日本大震災の復旧・復興、長期のデフレ脱却をし、経済成長を図るために、安倍内閣の経済政策であるアベノミクスを推し進めているところではありますが、私たち地方を取り巻く地域経済までその効果が現れているとは言えず、引き続き厳しい状況にあります。

また、政府は、昨年11月に、米の減反政策の見直しなど農業政策の大きな改革を打ち出し、今後のTPP交渉のゆくえ、今年4月からの消費税の増税などと併せ、今後、地方自治体への影響を注視していく必要があります。

本町では、現在、秋田県市町村未来づくり協働プログラム事業で、八郎潟駅前を拠点とし、図書館を中心とした情報交流拠点の建設を計画しており、子どもや高齢者でも集いやすく、全ての世代が利用・交流できる集いの場を創出して、元気あふれるまちづくりを推進することにしております。

町の一大事業でありますので、議会としても、町全体に活力を与えるすばらしい施設となるよう、農業の振興、商工業の活性化、少子高齢化対策、教育の推進など、本町が抱える多くの課題とともに、町当局と議論を重ねてまいります。

また、湖東総合病院の工事も順調に進んでおり、今年の5月に「湖東厚生病院」としてリニューアルいたします。議会としても、医師の確保等について引き続き関係機関に働きかけをしてまいります。

議会は二元代表制の下で、町長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を保ちながら、町民の福祉の向上および町政の発展に寄与していかねばなりません。

議会といたしましては、平成24年3月に制定した「八郎潟町議会基本条例」に掲げる理念の下、行政への監視及び評価をはじめ独自の政策立案など、議会機能の一層の充実強化に取り組みでまいります。

今後、様々な町政課題に向け、町民の皆様の声を十分にお聴きし、しっかりと議論を重ねるとともに、町議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、町民の皆様の期待にこたえるべく、誠心誠意尽くしてまいります。

結びに、新しい年を迎え、町民の皆様のご健勝とご多幸を議員一同心よりご祈念申し上げます。年頭に当たつてのご挨拶とさせていただきます。

議長

三戸留吉

副議長

近藤美喜雄

議員

村井剛

畠山金美

金一義

石井清人

加藤千代美

柳田裕平

伊藤秋雄

北嶋賢子

菊地文人

伊藤敦朗

(議席順)



12月 定例会

12月10日(火)から13日(金)まで4日間の会期で定例会が開催されました。

提出議案等は、条例の改正・制定3件、補正予算7件、人事案件3件のあわせて13件で慎重審議の結果、すべて原案どおり可決あるいは同意されました。

一般会計補正予算

歳入、歳出にそれぞれ213,455千円を追加し、
総額2,763,796千円となりました。

《主なもの》

歳入	民生費国庫負担金(児童手当負担金)	3,216千円
	民生費国庫補助金(子育て支援交付金)	△ 1,346千円
	農林水産業費国庫補助金(林道施設災害復旧事業費補助金)	1,504千円
	民生費県補助金(子ども・子育て支援事業補助金)	1,359千円
	衛生費県補助金(風しん予防接種緊急支援事業補助金)	257千円
	農林水産業費県補助金(局所防災事業費補助金)	1,600千円
	後期高齢者医療特別会計繰入金	1,324千円
	前年度繰越金	32,822千円
	県振興資金貸付金	171,100千円
歳出	総務費(多目的交流施設実施設計業務委託料)	20,000千円
	“(用地購入費)	87,149千円
	“(物件移転補償費)	83,969千円
	“(住基ネット機器更新委託料)	3,997千円
	民生費(児童手当)	5,040千円
	農林水産業費(伸ばせ秋田の美人ねぎ産地強化事業費補助金)	115千円
	“(局所防災事業工事費)	2,300千円
	土木費(道路敷購入費)	120千円
	“(物件移転補償費)	2,100千円
	“(町道整備工事費)	△ 2,220千円
	災害復旧費(林道天池線災害復旧工事費)	2,600千円
	予備費(予備費)	2,390千円

修正動議を **否決**

平成25年度八郎潟町一般会計補正予算に 2議員が修正動議を提出

加藤千代美議員、金一義議員の2名から、秋田県市町村未来づくり協働プログラム『八郎潟町プロジェクト』「駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト事業」に係わる予算191,750千円全てを減額する修正動議が提出された。

修正動議の提案理由 加藤千代美議員

駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト事業については、町民の意見を広く聴集し、意見を深め、町の基本構想及び都市計画マスタープランとの整合性を深めるため、継続審議とすることが望ましいと考えるため。

討論終了後、起立採決を行い、修正動議は賛成2、反対9(定数12、議長を除く)で**否決**となった。

一 般 質 問

高齢化社会での雪との戦いに どう対処するか



畠山 金美
議員

街の活性化
安全、商店
乗車の際の
タクシーの
安全、乗合
の歩行者の
通勤通学
の歩行者の
安全、乗合
タクシーの
乗車の際の
安全、商店
街の活性化

問 ・高齢化の進行とともに年々新たな問題が発生してくるよう感じられるが、どのような事態があるか。
・除雪と排雪に融雪を加えた対策は。
除雪より強力なのは排雪であるが、コストがかかりすぎる。川から水を汲み上げ、側溝に流し、町民の力を借りての融雪という手段があれば、コスト削減に貢献できるのではないか。



一日市商店街

をも合わせると駅前開発をにらみ、県道である町なりに融雪対応の動きを期待したい。
・中期（5年ほど）の時間をかけ、必要性の高い町内から除雪機を配備していったらどうか。
・避難場所へ常駐している車両への注意を喚起する対応が必要ではないか。

町長 除排雪ができないことで地域社会とつながる生活道路、高齢者や障害者を持つ世帯では、災害時の避難道の確保が

問 どちらも地域の振興に大きく関与するテーマであるが、現状を見ると後継者難に直面している団体が多いように見受けられる。
10年後はどうなると想定しているか。今やっ

社会教育・社会 体育の10年後を 見据えた対応は

難しくなっている。
一日市地区は住宅が密集しているため流雪溝の整備も一案だが、平坦地が多く、勾配の確保や、強制排水ポンプ設置にかかるランニングコストも考慮すると整備は困難。
商店街の歩道の除雪は、早朝とはいかないが、日中の除雪を実施する。
除雪機の配備は、無料貸付が少ないのが実情であり、福祉課のくらし安心サポートの3台、社協に1台あり、今年度も継続して貸し付けをして、操作講習会も実施していく。避難場所への常駐車両は警察と連携していく。

町長 現在、生涯学習に関連する諸団体の精神的な活動に支えられて町の活性化が図られてい

いる事業への工夫も必要になってくるのではないか。
・社会教育における、次世代への伝承、引き継ぎ、後継者の発掘、育成への手段に着手するとしたら具体的などんな施策が考えられるか。
・ソフトボールの中学校での創部が実現した場合、保護者が積極的にソフトボール協会へ加入する意向があるが、体協発展のため将来性のある重要な動きであると思う。
こうした展開こそ、親と子で力を合わせるという次世代の町づくりに欠かせない前向きな姿と捉えて考えてほしい。



弁天球場

る。学校はもとより、家庭や地域の連携を深め、子どもから大人まで自由に参加できる内容の企画、運営の仕方が求められ事業が進められていくことを想像したい。
次世代への伝承などは10年後も大きく変化はないと思う。
ソフトボールの保護者が協会に加入し、盛り上げていくことは体協の発展や事業拡大につながるものと思う。将来も地域の中で、自分が身につけた技術を生かした好きなスポーツ活動ができる環境であってほしい。

一 般 質 問

福祉灯油購入補助の実施を



北嶋 賢子
議員



灯油ポリタンク

問 灯油の高値が続いています。この件では2度目の質問です。今冬、大仙市に続き、能代市、潟上市、五城目町、三種町、八峰町、藤里町、東成瀬村、にかほ市が福祉灯油の購入補助の実施方向です。他に仙北市、羽後町も。この先は、寒さもつづきます。過去に実施例を持つ八郎潟町も、福祉灯油購入補助の実施を。

雨の度ごとに恐れていた事が実際におきてしまいました。登山道には、数百年もの樹齢を持つ、亀の甲羅の様な樹皮のある松の大本群がありました。その木々がごとごとく枯れ、根っこが死んでしまった尾根は、徐々にやせていくのみ。先般の雨は、常夜燈から尾根すじを、右と左に分かれて泥を抱きながら、また一つになって来

ました。尾根つたいはむき出しになっている部分もあります。町にとっても唯一森林浴の出来る財産です。塞の神農村公園の植栽同様に高岳山にも広葉樹の植栽を。

秋田県の水と緑の森作り税関係の補助金を活用して行う事業もあるが、県と充分協議をする。

高岳山に広葉樹の植栽を



高 岳 山

町長 本町では、平成19年度に実施している。灯油価格の上昇は低所得世帯のみならず、一般家庭においても厳しいものと思う。低所得世帯には、各分野に渡り支援がされている事から考えていない。今後、灯油価格が著しく高騰し県が実施する場合には対応する。

原発ゼロの実現について

町長 福島原発事故では、除染も進まないのが現状。原発再稼働より、被災者の復旧、復興が優先。将来的には原発ゼロの社会が望まれるが、これまで原発に依存して日本と地方の経済が成り立った事実を踏まえて、国は早期に原発に代わる、再生可能エネルギー等の政策、検討を推進し、国民が安全安心して住める社会の実現に真剣に取り組んでいくべきと考えている。

され、除染、賠償も遅れ、被災者の生活と健康に多大な不安をもたらしています。IOC総会での安倍首相のコントロール、ブロック発言は、世界に向けての公約です。除染、高濃度汚染水問題は早急に取りくむべき問題だと思います。ところが、あるうことか現政権は、安全な原発を推進する、と軌道修正しました。被災者の家族として許せません。原発はゼロに、エネルギーは自然からと思うのですが。

一 般 質 問

平成26年度の 予算案の作成について



加藤千代美
議員

問 平成26年度の税収は、平成25年度よりも増収するのか、増減についての説明を願いたい。

町長 平成26年度の町県民税は復興増税により均等割500円増1・6%の増、法人・県民税が6・3%の増、その他の税については若干の減となっている。普通税の予算総額は前年度より300万円の増となる。

問 国がTPPに参加した時、八郎潟町の農家所得は増収すると考えておられるのか。又、農業の六次産業化はやらないのでしょうか。

町長 TPPに参加した場合、県の試算では、農業全体41%、米単独では52%の減収、政府が進めている米の直接支払い交付金1万5千円が7千500円に減額になる案が

でており、稲作中心の本町の農業は減収になる。
問 農家所得をあげて雇用人を増やすというのが農業の六次産業化、これは駅前開発とも大いに関係あります。

町長 農業の六次産業化とは、生産、加工、販売まで一農家がやると国がいつているのであります。しかし個人で六次産業化に向かっているとかなかなかできないのが現状です。

その為に行政指導でNPO法人を創って雇用の場所を造り、生産加工、販売等をやるというのが、各市町村からできています。この様な情報を早く収集する必要があると思います。又、関連する資料を早く収集し、町民に伝達する必要があるのではないのでしょうか。

問 減反政策で八郎潟町の主食米の目標数量をどのように設定するのでしょうか。

町長 農林水産省が発表した本県への数量配分は、前年比3%減の43万

3千40トン、面積で2千340ha減の7万5千570ha、生産調整率は過去最高、県平均40・5%となる。12月下旬に県から各町村に配分される予定になつています。

問 今農家では、自分の所得がどの位になるのか試算しています。私が試算すると、減反で10万5千円の補助金を受けて飼料米を作った方が、主食米を作るよりも農家所得が増えると思います。町ではこの様な計算をしているのでしょうか。

町長 来年度は300万円増収になると答弁しましたが、農家所得があがらないと税収があがらないのであるから、所得があがる様に行政は誘導する必要があると思うがどうか。

町長 所得をあげるということが大事だと思う。農業所得をあげる為の施策であります。複合経営、農業経営の強化、農地の集積、いろいろあるけれども今後の課題と考えております。進めているけれども進んでいかないのが現状です。

学校教育施設の整備について

問 飼料米作付した時の町の畜産振興はどのように推進していくのか。
町長 飼料米の作付と畜産振興を結びつけての推進は、現段階で考えておりません。

放置するのではなく必要な物は修繕し、今後必要がないと思うのであれば整理し、環境を整備する必要があるのではないか。
教育長 小学校児童に不便な思いをさせておきたいへん申し訳なく思っております。
新しい遊具を設置するか別の形で使用するための器具を購入するかを決定し、26年度予算に計上していく考えです。



八郎潟小学校

一 般 質 問

デマンド型乗合タクシーの 五城目ターミナル延伸を望む



石井 清人
議員

問 秋田中央交通の面潟線が廃止になり、町はその対応策としてデマンド型乗合タクシーの運行をおこないました。今までのバス4往復に比べ乗合タクシーは5往復と増便されており、何よりも戸口から戸口へということが足腰の不自由なお年寄りには朗報であります。私も利用者の声を聞くことがありますが、たいへん便利だということであります。

現在の運行は浦大町地区を始発として湖東総合病院を終点としています。しかしながら面潟線の代替という意味であれば五城目ターミナルまで伸ばすことはできないのでしょうか。

現在湖東総合病院を改築中であり、新病院の稼働率を上げるためには皆が湖東総合病院にかかれればいいわけですが、

しかし中にはいままでの治療の継続性、専門性のため個人医にかかる患者もおり、また五城目の朝市に寄りたいという方もおるようです。また五城目町の知り合い友人を訪ねたいという方もおるでしょう。面潟線のバスであれば可能でした。

面潟線の代替という趣旨であれば五城目ターミナルを終点にすることが本来のあり方だと思えます。利用者の利便性向上のため改善することを提言いたします。

町長 10月末現在登録者は56人、利用者数は述べ331人、月平均47人の利用がある。東北運輸局秋田運輸支局に問い合



デマンドタクシー停留場

問 12区東側にある通称寺沼水路は強い雨が降ると洪水になります。今年度は強い雨もなくよかったです。9月16日の台風18号の影響で氾濫しました。このときは清源寺後ろ及び12区住家うしろの畑、作業場など広範囲で浸水しました。考えられる対策としては、寺沼水路の断面を大きくする、および12区西側の水路の断面を大きくするなど流量を大きくする

寺沼水路が氾濫 しない排水対策 を望む

に明け前向きに検討する。

わたしたちが可能な回答。町公共交通会議での承認、五城目町公共交通会議の承認、秋田中央交通との協議が必要となる。町民の利便性を考えれば延伸が必要と思う。今年度の試験運行の検証を踏まえ、来年度の本格運行

水路への負荷が小さくなり洪水防止になると思っています。関係者や専門機関の意見を聴いたり、現地調査などおこなって達成可能なものは事業着手していくような方を望みます。

町長 都市化による側溝整備が進み流速が早

ることですが、改良の調査をしてみる考えはないでしょうか。

さらに私の素人考えですが、元八郎潟ホテル裏の水路に分水できないでしょうか。

もともとの流れは昼根下地区から奥羽本線を横断して流れてきます。この部分の水路巾は100センチあります。それから畠山薬局前を流れ、県道を横断して元土橋石材店の分水個所で二手に分かれ一方は巾60センチの水路、一方は巾70センチの水路で流下していきます。この手前で元八郎潟ホテル裏の水路に分水し

てやると、寺沼水路の断面の拡幅も含め、排水路システムを本格的に現地調査し検討したいと考えています。

くなり末端の排水能力の超過が考えられる。上流側の昼根下水路の分水、寺沼水路の一部に副断面の側溝等の設置をしているが、ゲリラ的な豪雨などに対応できない。根本的な対策として馬場目川の浚渫を県にお願いしているが、実現には時間がかかる。元八郎潟ホテル裏の水路は31区へつながり分水は困難。12区西側の水路拡幅は土地改良区で難色を示した経緯がある。土地改良区との協議、水路断面の拡幅も含め、排水路システムを本格的に現地調査し検討したいと考えています。



寺沼水路

一 般 質 問

スポーツで八郎瀉町を元気に



柳田 裕平
議員

問 弁天球場について聞
う。

① 球場内の、正面入口の事務室・展示コーナー等の清掃状況が粗雑になっている。

② スコアボードを電光掲示にできないか。

③ 球場使用について、町の野球行事を優先にしている。
教育長 清掃については、管理人が毎日の点検清掃は困難な状態ですが、巡回管理の徹底や利用者にも使用後の清掃協力を求めながら、施設管理に努めます。電光掲示については、過去の落雷の影響とか、来年度の予算状況から考えておりません。球場使用は、郡市中学校総体などの大会を除き、町体育協会関係団体、町民使用を優先的に進めていきます。

問 オリンピック記念会

館について問う。

① 新しい器具を入れて、トレーニングのメニューを多くできないか。

② トレーニングの専門指導員を養成してもらいたい。

③ 病氣・リハビリにも活用できるのでは。

④ もっと積極的なPRが必要である。

⑤ 以前のように、町正職員を常駐させて中羽立公園全体で管理させるべきでは。
教育長 器具の新しいメニューは更新時期をみながら検討します。専門



オリンピック記念会館

指導員の養成は必要と考
えております。PRにつ
いては体育施設全体につ
いて町広報等で積極的に
努めます。町正職員の常
駐は事務効率の観点から
考えておりません。

問 中羽立公園運動施設
を、近隣町村と連携し強
化寄宿候補地としての展
開を考えると。

教育長 連携も一つの
策ですので、潟上・南秋
地域の課題として考えた
いと思います。

問 将来、全国レベルで
活躍できる選手の育成及
び小・中学校スポーツク
ラブの強化について問
う。

教育長 強化策につい
ては体育協会・教育委員
会とも連携して取り組ん
でいきたい。小中一貫校
クラブ活動の将来構想に

① 指導者同士の講習会・
勉強会を開催してはど
うか。

② 各競技の実績あるOB
の知恵と力を結集し
て、強化策を検討して
はどうか。

③ 小・中一貫校にむけ
た、スポ少・クラブ活
動の将来構想を早く示
すべきでは。

教育長 強化策につい
ては体育協会・教育委員
会とも連携して取り組ん
でいきたい。小中一貫校
クラブ活動の将来構想に



案内看板

については、実施3年前
にはその方向性を示して
いきたい。

町長 スポーツ施設の
整備は急務であるし、
小・中スポーツのレベル
アップについては町OB
アスリートの意見も拝借
し真摯に取り組んで参
ります。

小学校遊器具への 対応

問 使用禁止で放置され
ている小学校正門前の危
険状態な子供用遊器具へ
の対応は。

教育長 修理して使え
るもの・使えないもの等
の調査・検討して早急に
対応いたします。

八郎瀉町への 案内看板について

問 高速道路インター出
入口に設置の「八郎瀉町
への案内看板」を新しく
してはどうか。

町長 2014年秋開
催予定の国文祭までに
は、目立つような新看板
を検討して参ります。

一 般 質 問

国の農政転換に対応した町の今後の農業政策を示せ



金 一義
議員

問 日本の経済社会が急速な経済成長と、国際的な著しい発展により大きな変化を遂げる中、農業と農村を取り巻く環境も大きく変化した。今、農政は戦後の農政改革にも匹敵する大きな転換期を迎えつつあります。国は、いま1970年から40年以上続いてきたコメの減反政策を見直し、減反、生産調整を5年後に廃止を決定しコメ政策が大きく転換する。

町長 本町では、農業を基幹産業と位置付けておりますが、国が今回決定した農業改革における対策として、本町では今後どのような施策が考えられるかお示し下さい。

町長 農家の複合経営を奨励するための施策を模索し、農業経営体の強化や農地の集積、高付加価値をすすめる。



稲刈り前

問 (イ) 本町の農業就業人口と平均年齢の推移は。

(ロ) 法人化や経営規模拡大等の今後の推移をどのようにみているか。

(ハ) 本町の農業生産額等の産出額をどのように把握しているか。

(ニ) 今後の農業に対する政策の方向政策は。

(ホ) 補助金廃止による、来年度以降の本町の農業全体の減収はどの程度見込まれるか、それによる町の税収の影響は。

町長 (イ) 平成2年1千937人、平成22年956人で年々減少している。

(ロ) 県とともに、今後

問 9月16日に本県にも大きな被害をもたらした台風18号は、本町にも猛烈な豪雨をもたらし、林道施設、林地の山腹崩落等浦大町地域に土砂災害の被害をもたらし、さらに、避難勧告発令により、住民14世帯が避難をされており、今後、今回の被害を教訓に、浦大町地域の防災対策の見直しが必要と思いますが、安心安全を担保するためにどのような対策を考えているか。

台風18号における浦大町地域の防災の在り方と今後の対策は

法人化、地域の担い手育成を進める。

(ハ) 農業生産額 平成2年9億1千800万円、平成22年4億4千300万円。

(ニ) 先の本題でも答弁している。

(ホ) コメの交付金は24年度産米での計算は、238人で8千423万1千円です。来年はこの半額で計算されます。

町の消防団組織の再編の必要の考えはないのか

問 本町も、町内各地の高齢化に伴い、各消防分団の体制の強化が重要であります。厳しい社会経済情勢のなかにおいて、若い消防団員の充足を図ることが厳しい我が町の状況にあります。各分団組織を現状のまま維持されていくのか、また分団の再編の必要がないのかお知らせ下さい。

町長 町としては、分団数にはこだわりません。災害時には各分団が協力しあって対処しております。役場職員で構成されている分団で日中の火災に対応しており不安が解消されつつある。今後、個々の分団の地元に対する考え方、意見を聞きながら、分団再編について考えていく。

町長 県単急傾斜地崩壊対策事業や県単局所防災事業の採択を視野に入られて、県や関係機関の協力を仰ぎながら、どの程度の総雨量までならどの程度の対策が必要か、有効かを十分な協議をかさねてまいります。

問 文部科学省は来年より実施される全国学力テストについて、学校別の成績公表を市区町村の教育委員会の判断で認めるとあります。この改正により対応は。

教育長 本町では、今までどおり検査結果から本町児童生徒の実態を分析し、弱かった項目の改善策、並びに伸ばしてやりたい項目などの成果と課題、学校の取り組み等を町民にお知らせする形をとる。

全国学力テスト成績公表解禁についての町の考えは



分団詰所

一 般 質 問

将来へ向けての 本町の農業政策について



伊藤 秋雄
議員

問 ①2017年度から米の生産調整に参加した農家への補助金は半額以下になるといいますが、このような農業政策に対して本町独自の将来に向けた政策は考えているか。

②27年以降は補助金が半額以下になれば経済面(税込)にどんな影響があるのか。

③消費税5%から8%になった時、航空防除や農業資材への補助。

④小規模農家への支援。

⑤他町村の農家と利用権設定を結ぶ人もいるが町の田んぼを守る形にできないか。

町長 ①町としては複合経営を奨励するため施策を模索し、農業形態の強化や、農地の集積を図りたい。

②農家個々の収入や経費、控除額等によるため現段階では把握していない。

③今後の課題とする。

④小規模でも複合経営を目指す方法もあるので支援していく。

⑤他町村の農業者、株式会社、法人を排除することはできない。

問 今、農業に従事する女性たちの奮闘ぶりが目につく。直売所、加工、農家民宿、農家レストランなど。さらなる支援や工夫が求められているが町長の考えは。

町長 六次産業は大事。農家民宿などについて県の指導を仰ぎ考えていく。

問 持続可能な農業を実現させるためには、担い手の確保が最重要課題であると思うが。

町長 厳しい状況だが後継者育成を進める。

問 ①14年度米本県生産目標は3%減で決まったようだが、本町の減反率、生産目標は。

②いつごろ農家に配分されるのか。

③「日本型直接支払」が創設され、その中で「農地維持支払」と「資



田植え後の田んぼ

源向上支払」があるが。

町長 ①県平均が40.5%。過去最高の転作率。本町は県平均より数値が低い。市町村間の較差は正は、26年度産米については据え置く。

②地域農業再生協議会に報告後一月中になる。

③「農地維持支払」は水路の泥揚げ、農道の草刈り、などの基礎的活動。「資源向上支払」は現行の「農地、水、環境保全管理支払」のこと。

想定外の災害時 周知徹底

問 災害時情報収集や連絡体制の強化、豪雨や竜

巻などの避難勧告の発令基準の設定と対応はあるのか。

町長 23年3月八郎潟町地域防災計画の中で、風水害と地震災害の二種類に大別し、災害対策本部、警戒対策本部などを設置している。

問 マグニチュード8.7程度の地震が冬の積雪深夜発生した場合、行政側の対応は。また、想定外の豪雨となった場合どんな被害が起きるのか、想定外を想定したことがあるか。

町長 マグニチュード8.7の地震が真冬の深夜発生した場合、全壊家屋は918棟、半壊1千268棟、死者48名、負傷者268名避難者数2千645名が予想される。豪雨については想定したことはない。

問 想定外、過去に経験したことのない、数十年に一度の気象現象への対応をきめ細かく記載すること、土砂災害危険箇所に関する住民への周知徹底、危険箇所への看板の設置などを考えているのか。

町長 現時点では被害の拡大が不透明なので八



防災センター

ザードマップへの記載は不可能。降雨の状況に応じて避難勧告は早めに。土砂災害については調査し、三倉鼻、浦大町、真坂地区など危険箇所看板を含めた周知説明会を住民に対して計画している。

問 県内の各市町村では、除雪サービスの充実を図り様々な取り組みをしている。県では豪雪地帯対策基本計画とともに、計画の実現に向けたアクションプログラムを近く策定する。本町の取り組みは。

町長 社会福祉協議会、シルバー人材センターなどによる除排雪があるが、基本的には地区の互助活動が、大事ではないかと思う。

各常任委員会の審議

総務産業 常任委員会

◆八郎潟町一般会計
補正予算(第5号)
について

問 秋田県市町村未来づくり協働プログラム「駅前にぎわい・ふれあい・元氣プロジェクト」について。

【問1】物件補償について
答 3名の関係者のうち、JA以外の2名は、構外再築工法での移転補償としている。JA倉庫の補償は解体費のみで協議してきたが、後で、倉庫が必要という申し出があり、構外再築工法による移転補償をしてもならないかとの要望があったが、町では、議会に対して、解体費のみの補償と説明していること、また、新たに建物調査費が必要

となることから、解体費だけの補償でJAから了承を得たものである。

人的配置を含め、コスト削減を図っていきたいと考えている。

【問2】ランニングコスト

ト5千万円については。

答 人件費と光熱水費等を含んだ年間の維持管理費である。今後、新たな採用を極力控えるなどの

【問3】多目的交流施設

の設計と工事監理を分け

た理由について。

答 消費税が来年4月から8%に引き上げられることを踏まえ、実施設計

を年度内の業務期間で発注し、工事監理は4月に降に発注したい。
○委員からの要望

本事業の実現後は、高速度道路へのアクセス道路である県道秋田八郎潟線、駅の平面交差の実現について、強く要望する。

問 大雨による浦大町地区の崩落について。

【問1】今後の崩落箇所への対応は。

答 県指定の急傾斜地の危険箇所となっているので、県で対応することになる。

【問2】二次災害に備え、法面の樹木の伐採計画はあるのか。

答 二次災害の観点から、県に要望する。

◆八郎潟町公共下水道
事業特別会計補正予
算(第2号)について

問 停電になった場合のマンホールポンプの対応

【答】 400kwの発電機を

業者から借り入れ、主要なマンホールポンプから対応している。

教育民生 常任委員会

◆八郎潟町空き家等の
適正管理に関する条
例の制定について

問 現在の空き家の状況を把握しているのか。

答 町内会長の調査結果を集計したところ、現在、201件が空き家等となっている。

問 一日市13区の物件以外にも、この条例の対象となるような物件はあるか。

答 一日市地区から夜叉袋地区にかけて、町民課で巡回調査をしている。早急に対処が必要な物件は数件ある。相談事例もあるが、今年度は、まず、13区の物件に早期に対応したいと考えている。

問 免除規定はあるか。

【答】 国税徴収法では、免除規定はない。請求費用の納入がない場合は、督促・催告・差し押さえ等を行っていくが、徴収猶予、差し押さえ財産の換価の猶予はある。

問 条例の各条文での説明文言や、費用徴収の記述について見直しが必要では。

【答】 代執行に要した費用の徴収については、一連の手続きを体系化したことから、本条例改正時に見直しをしたい。

問 本条例の制定には、各条文の規定をわかりやすく表現するとともに、また、対象となる空き家等について、審議会なるものの設置の検討を含め、国税徴収法に基づき、行政代執行までの一連の手続きが明確になるよう求める。

【答】 危険度の客観的基準などの詳細について、自民党の特別法案等が国会決議され詳細が示され次第、本条例を改正したい。



総務産業常任委員会

◆八郎潟町一般会計
補正予算(第5号)
について

期が重なったため、補正
予算で要求したものであ
る。

問 歳出の住民基本台帳
ネットワークシステム機
器更新委託料399万7
千円について。

答 コンピュータのオペ
レーションシステムのサ
ポート終了が平成26年4
月9日であり、システム
と機器更新の切り替え時

問 子育て支援交付金の
134万6千円は年度途
中で国庫が県補助金に変
わったのか、また1万3
千円の増額は歳出の人件
費に充当しているとした
ら疑問だ。

答 国から「国庫補助金
から県補助金に切り替え

る」とのことによる補正
で、歳出の人件費への充
当については、補助金要
綱において人件費にあて
ることが出来る。

問 健康増進での食育推
進では、どのようなこと
を行っているのか。

答 福祉、産業、教育各
課で取り組んでおり、生
産から食べ方、成長、健
康増進について取り組む
ものである。

○委員からの要望

食育推進計画には、教
育の重要性、栄養素や危
険因子について広く町民
に理解して頂くようにし
て頂きたい。

教育民生常任委員会



問 10月発行の国民健康
保険証で発行日に記載ミ
スがあったが、確認体制
はどうか。もっと厳守に
してほしい。

答 国保連に確認し、資
格に異動のない方につい
ては問題はない。4月1
日から10月1日までの資
格がなかった方は取り替
えている。

議決された
条例の内容

八郎潟町介護保険条
例の一部改正

延滞金の割合の特例
を改めるものです。

八郎潟町後期高齢者
医療に関する条例の
一部改正

延滞金の割合の特例
を改めるものです。

八郎潟町空き屋等の
適正管理に関する条
例制定

町民等の生命、身体
及び財産の保護並びに
良好な生活環境の保全
を図るため、空き屋等
の適正な管理に関し町
及び所有者等の責務を
明らかにするとともに
に、管理不全な状態に
ある空き屋等に対する
措置について定める必
要があることから制定
されました。

秋田県市町村未来づくり協働プログラム…八郎潟町プロジェクト概要

駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト(素案)
～八郎潟駅前の情報交流拠点化による賑わいの創出～

● 目 的 ●

1. 読書活動推進による教養の向上
..... 図書館
2. 子育て支援環境の充実
..... 子育て支援ホール
3. イベント・交流広場を活用した
にぎわいの創出 交流ホール

事業規模

木造2階建て延べ床面積1,988㎡
 総事業費.....約9億3,880万円
 うち施設概算工事費.....6億3,150万円
 実施設計委託料.....2,000万円 (12月補正予算に計上)
 用地購入費.....8,715万円 (")
 物件移転補償費.....8,397万円 (")
 その他.....1億1,618万円
 補助金等見込み額.....5億9,950万円
 一般財源.....約3億3,930万円

平成25年 八郎潟町議会12月定例会提出議案結果報告

議案番号	審議案件	結果
議案第51号	八郎潟町介護保険条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第52号	八郎潟町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第53号	八郎潟町空き家等の適正管理に関する条例の制定について	全員賛成可決
議案第54号	平成25年度八郎潟町一般会計補正予算（第5号）について	賛成多数可決 (反対2金一義、加藤千代美)
議案第55号	平成25年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成可決
議案第56号	平成25年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	全員賛成可決
議案第57号	平成25年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成可決
議案第58号	平成25年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	全員賛成可決
議案第59号	平成25年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成可決
議案第60号	平成25年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成可決
議案第61号	八郎潟町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(櫻庭正男氏)	賛成多数可決 (反対1加藤千代美)
議案第62号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(江島 廣氏)	全員賛成可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(工藤常子氏)	全員賛成可決

広域組合議会報告

**湖東地区行政一部
事務組合議会**

平成25年12月24日、湖東地区行政一部事務組合では第3回議会定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

◆平成25年度一般会計補正予算について

既定の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億6千668万3千円を追加し、総額をそれぞれ8億3千877万2千円とする。
補正予算の主なものは、消防救急無線のデジタル化工事費で2億6千792万円。

◆監査委員の選任

渡邊 晋二氏
(潟上市飯田川) 新任



**八郎湖周辺清掃
事務組合議会**

12月20日開催、平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定。歳入5億4千085万6千円。歳出5億3千317万9千円。平成25年度一般会計補正予算を可決。決算見込みによる調整で歳入歳出にそれぞれ767万5千円を追加し、補正後の予算総額を5億2千624万円としました。

**八郎潟町・井川町
衛生処理施設組合
議会**

平成25年度第3回定例会を12月18日に開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

◆平成25年度一般会計補正予算

歳入・歳出 3千892万3千円
補正額 歳入・歳出 106万2千円

■ 請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議果
10	平成25年9月12日	陳情	能代市	秋田県原爆被害者団体協議会 会長 小山 春雄	「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」改正を求める意見書採択についての陳情	総務産業	採 択
11	平成25年10月15日	陳情	秋田市	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	日本国憲法をいかし、安定した雇用の実現を求める陳情	総務産業	採 択
12	平成25年10月22日	陳情	秋田市	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書提出を要請する陳情書	教育民生	採 択
13	平成25年10月22日	陳情	秋田市	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	教育民生	採 択
14	平成25年10月22日	陳情	秋田市	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	介護職員の処遇改善を求める陳情書	教育民生	採 択
15	平成25年10月30日	陳情	秋田市	一般社団法人秋田県薬剤師会 会長 松田 泰行	学校薬剤師報酬改善に関する陳情書	教育民生	採 択
16	平成25年12月2日	請願	秋田市	農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木 万喜夫	T P P 交渉に関する請願	総務産業	採 択



議会のうごき

10月

- 6日 塞ノ神公園ふれあい植樹
- 7日 秋田県町村議会議長会理事会
- 7日 秋田県市町村電算システム共同事業組合議会臨時会
- 10日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会
- 13日 体育協会スポーツフェスティバル
- 18日 例月出納検査（監査委員）
- 19日 産業芸術文化祭（カラオケ発表会）
- 20日 産業芸術文化祭（舞台発表会）
- 26日 小学校学習発表会
- 26日～27日 産業芸術文化祭
- 29日 秋田県知事との行政懇談会
- 30日 町表彰式

11月

- 3日 消防団駆付訓練
- 7日 消防協会男鹿潟上南秋支部総合防災訓練
- 12日 秋田県選出自民党国会議員との懇談会



- 13日 町村議会議長全国大会
- 13日～14日 定期監査（監査委員）
- 14日 南秋田郡町村議会議長研修会
- 18日 例月出納検査（監査委員）
- 22日 南秋田郡町村議会正副議長並びに事務局職員合同研修会
- 26日 議会全員協議会
- 28日 秋田県町村議会議長会理事会
- 28日 秋田県市町村電算システム共同化記念式典
- 30日 幼稚園学習発表会
- 30日 町民座談会

12月

- 3日 議会運営委員会・議会広報編集委員会
- 10日 議会定例会（13日まで）
- 15日 安全安心フォーラム
- 18日 例月出納検査（監査委員）
- 18日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 20日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 24日 議会広報編集委員会
- 24日 湖東地区行政一部事務組合議会

◆議会広報編集委員会
委員長 石井 清人
副委員長 加藤 千代美
委員 伊藤 一義
伊藤 秋雄
金藤 留吉
三戸 留吉

天照大神をお守りしている伊勢神宮が20年に1度の式年遷宮の年であるというので、昨年11月末、神社庁主催の新穀感謝祭に参加しました。外宮と内宮の2つの神殿に（一般の参拝者は入れない）入ることができ、ここでは個人的なことではなく、広く人類社会の平和への祈りが大事ということでした。

今、日本では農業政策がかつてない大転換をしようとしています。多くの農家は不安を募らせています。また、昨年は想定外の豪雨、竜巻、台風など災害の多い年でもありました。

今年は午年。馬は古来より宮中や神社の神事に縁深き動物とされてきました。年の初めに白馬を見るとその年の邪気を祓い、無病息災ですごせるといわれ、縁起の良い動物とされているそうです。白馬を見ることはなかなかなくとも、今年こそは八郎潟町民が安全安心で幸せを感じられる年でありたいものです。

(伊藤 秋雄)

編集後記

